

Clappy the Monkey® [クラッピーモンキー] の修理法 (左上腕骨が折れた)

2026.03.14
トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「BABY GUND® Clappy the Monkey™」(クラッピーモンキー)で、Gund Manufacturing Company 製造の2015年発売です。



2. 特 徴

- ・「GUND®」はアメリカを代表するブランドで、その中でも「BABY GUND®」は0歳～幼児向けの安全性・柔らかさ・デザインに特化したシリーズです。
- ・クラッピー(Clappy)は、歌ったり喋ったりしながら手をたたくサルぬいぐるみです。音に合わせて赤く点滅するほっぺたがチャームポイントです。
- ・左足の「Play!」を押すと、交互に2パターンの動きをし、音に合わせて頬が赤く点滅しながら赤ちゃんをあやします。パターン①「音楽に合わせて手を叩く」、パターン②「喋りながら手を叩く(腕を動かす)」
- ・右足の「Sing!」を押すと、「If You're Happy and You Know It」を歌いながら手をたたき、音に合わせて頬が赤く点滅します。

3. 故 障

右足にSingのスイッチ、左足にPlayのスイッチがあり、スイッチ用リード線の根元で断線しやすいです。また両腕も音楽と歌に合わせて動くので腕の機構の故障もあります。お腹に制御プリント基板やスピーカなどの電子部品があり故障要因が多いです。

今回の故障は、**左上腕骨が折れた故障**です。

4. 原 因

故障症状の分析と分解および修理過程で分かったことは、

- ・左上腕骨の肩関節付け根が折れている。→ 強い力が加わった?

対応は、

- ・折れた左上腕骨根元を左上腕骨根元ギアに、φ0.28mmステンレス線を2重で縛り、瞬間接着剤と重曹で固定しました。

5. 修 理

(1) 底枠板の外し

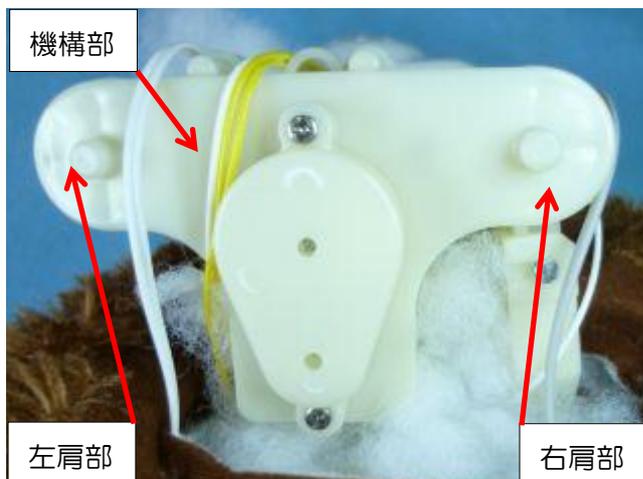
電池ケースフタを外し、底枠板の○印のネジ(タッピング 2.6X8)4本を外し、底枠板を外します。



Clappy the Monkey® [クラッピーモンキー] の修理法 (左上腕骨が折れた)

(2) 機構部の取り出し

ぬいぐるみを上へ捲り上げ、機構部が見えるようにします。



(3) 肩部の分解

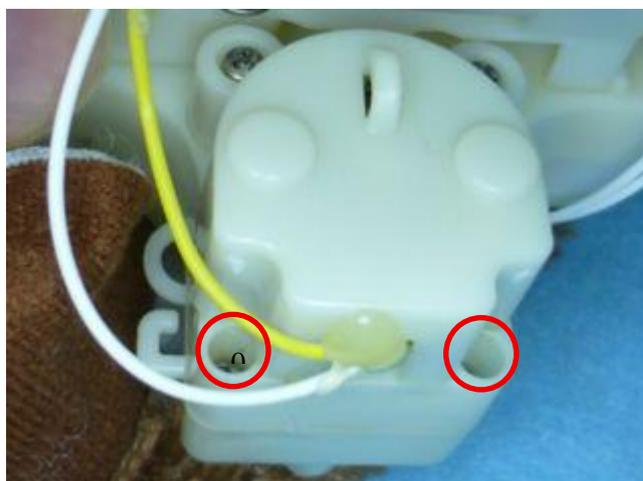
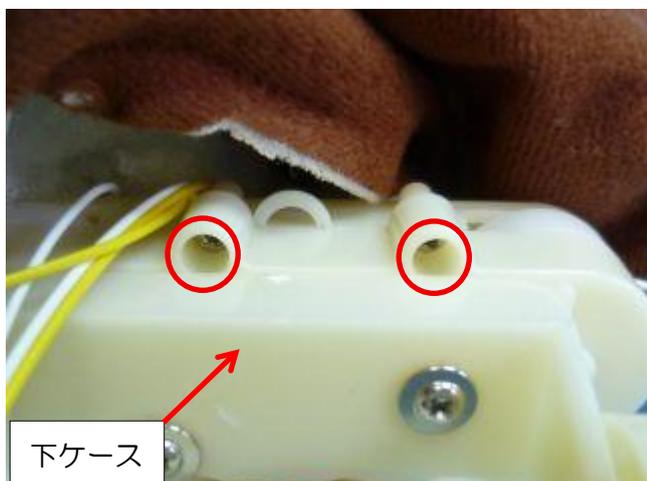
肩部の状態を把握をします。

左肩部側面 (骨折)

参考: 右肩側面 (正常)

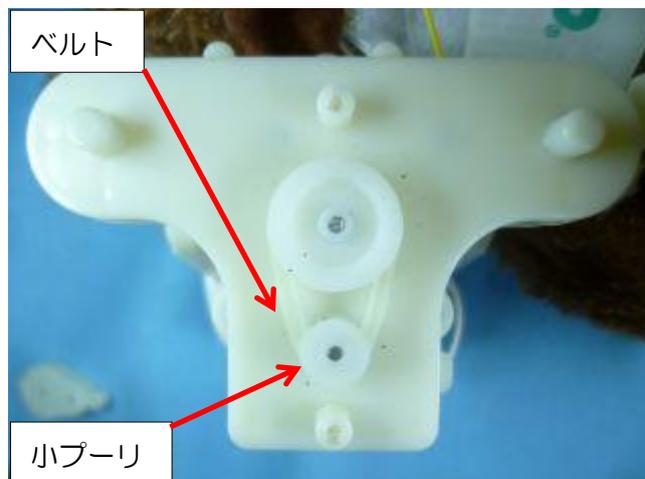
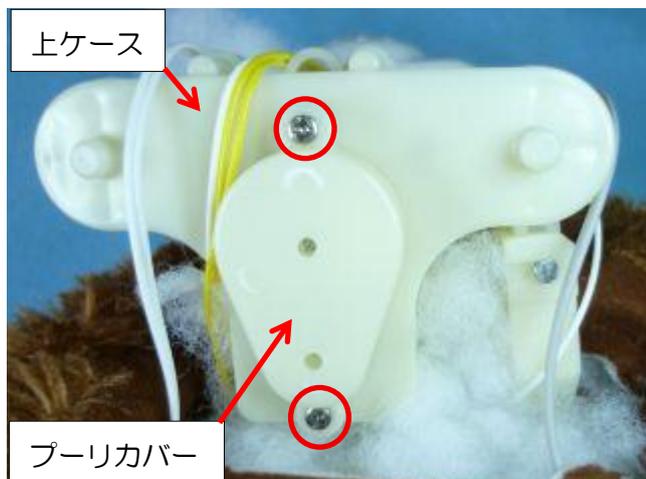


左肩部の骨折箇所を取り出すには、機構部の上ケースを外す必要がありますが、上ケースにはネジがありません。下ケースの○印のネジ (タッピング 2.5X5) 4本を外します。



Clappy the Monkey® [クラッピーモンキー] の修理法 (左上腕骨が折れた)

更に上ケースのプリーカバーを、○印のネジ (タッピング 2.5X5) 2本を外して取ります。
小プーリとベルトを外します。

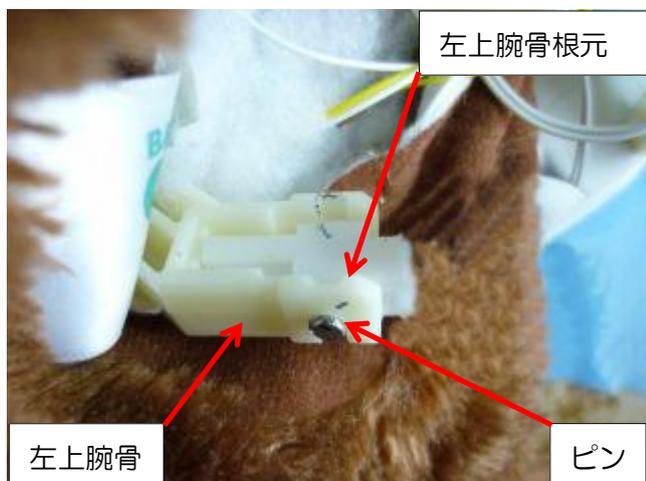


上ケースを外し、左上腕骨根元ギアを取り出します。



(4) 左上腕骨根元の取り出し

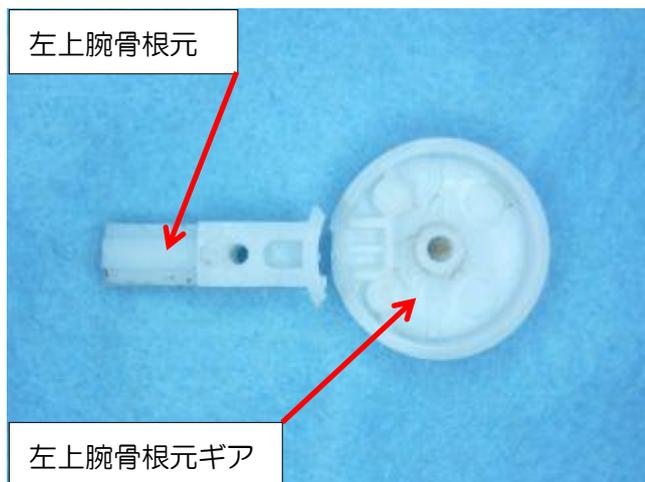
ぬいぐるみから引き出した左上腕骨からピンを抜き、骨折した左上腕根元を取り出します。



この左上腕骨根元で左上腕骨ギアが折れたのが、今回の左腕が動かない原因です。

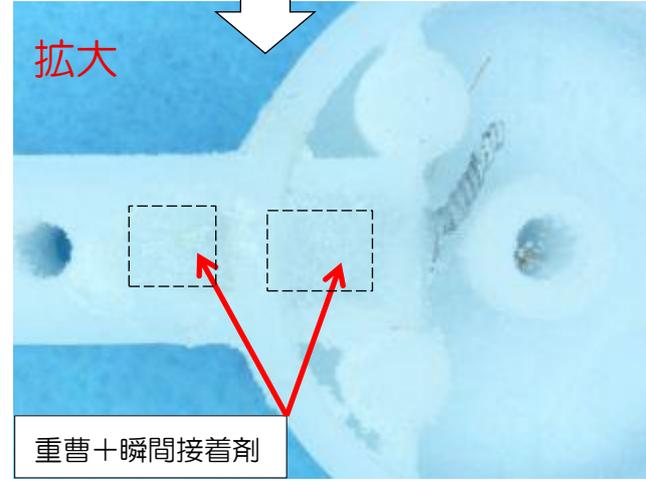
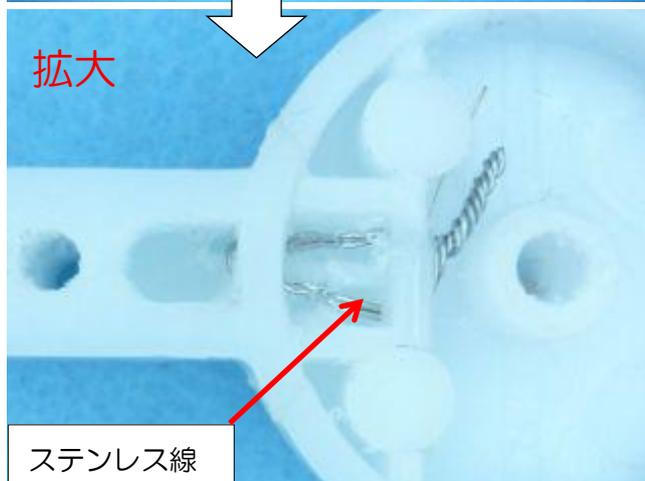
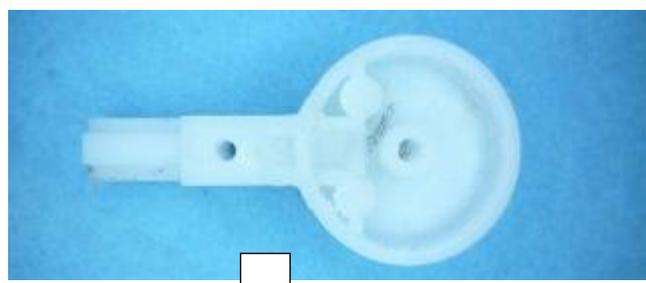
Clappy the Monkey® [クラッピーモンキー] の修理法 (左上腕骨が折れた)

(5) 左上腕骨根元の修理



接着する前に、 $\phi 0.8\text{mm}$ の孔を開けておき、左上腕骨根元と左上腕骨根元ギアの切断面に瞬間接着剤を塗布し、合わせて固定し、 $\phi 0.28\text{mm}$ ステンレス線を2重にして貫いて振ります。

箱状の穴に重曹を入れ瞬間接着剤を塗布して固定します。



これで、原因追及と **修理完了**。

(6) 元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻して要注意点のみ記載します。

(a) 左上腕骨根元ギアを左上腕骨に留め

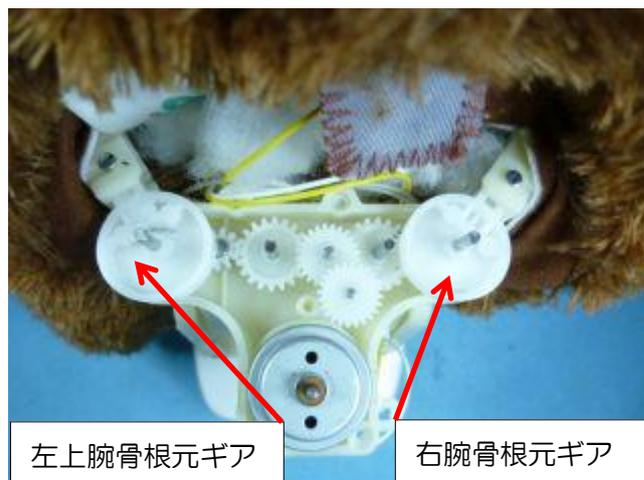
補修した左上腕骨根元ギアを左上腕骨に設置し、ピンを押し込んで留めます。



Clappy the Monkey® [クラッピーモンキー] の修理法 (左上腕骨が折れた)

(b) 左上腕骨根元ギアと右腕骨根元ギアを下ースに設置

画像のように、左上腕骨根元ギアを約 320 度、右上腕骨根元ギアを約 40 度にして仮に設置します。手の動く状態を決めるのは、全部を組み上げた後、両手を広げたり狭めたりして調整できます。(手の動きを決める大きなプリーが、ベルトを滑らすことで調整できます。)



(c) 上ケースと下ケースを裏からネジ留め

タッピング 2.5X5) 4 本で留めます。

(d) 上ケースにプリーとベルトの設置とプリーカバーのネジ留め

プリーとベルトを設置した後、プリーカバーをネジ (タッピング 2.5X5) 2 本で留めます。



(e) 機構部をぬいぐるみに入れ

(f) 底枠板のネジ留め

縫いぐるみの裾を電池収納部周囲の枠溝に嵌め込み、底枠版で押さえ込んでネジ (タッピング 2.6X8) 4 本で留めます。

完 成。

終わり